

加古川平成ロータリークラブ
会長 原田 悟
幹事 高田 裕美
公共イメージ委員長 網本 徹
2680 地区ガバナー 城 守

例会日/毎金曜日 18:00~19:00・例会場/加古川プラザホテル
事務局/加古川市加古川町溝之口 800 加古川商工会議所会館
Tel. 079-422-8000 FAX. 079-422-8100
ホームページ <http://www.k-heisei-rc.com/> Eメール heiseirc@basil.ocn.ne.jp

2025~2026 年度 RI 会長 フランチェスコ・アレッツォ

No. 1621 April 3, 2026

例会プログラム

第 23 回(4 月 3 日)

卓話
「2025 年規定審議委員後
何が変わった？」

林 知宏会員

例会当番 岡田

次週例会プログラム

(4 月 10 日)

「次年度小委員会」

次年度会長・幹事

次週例会当番 榊

前週例会報告

◇ ゲスト

◇ ビジター



◇ 出席率 先週 会員数 17 名 出席数 11 名 出席免除 2 名 欠席数 4 名
先々週 会員数 17 名 出席数 7 名 出席免除 2 名 欠席数 8 名

◇ 欠席者 4 名 岡田 高松 松野 山本

◇ メークアップ 2026 年 3 月 14 日・15 日 2026 年会長エレクト・ラーニングセミナー 網本
◇ 2026 年 3 月 22 日 第 9 回青少年交換小委員会・第 7 回来日性・第 5 回派遣候補生オリエンテーション 井上



★ 2025-26 年度 東播第 2 グループ I.M. ホスト ; 加古川 R.C

RI テーマ よいことのために手を取りあおう

① 各RC例会変更のお知らせ

高砂 RC 4月24日(金)→4月23日(木) 高砂青松 RC との合同献血例会
於；高砂文化会館駐車場

高砂青松 RC 4月22日(水)→4月23日(木)高砂 RC との合同献血例会 於；高砂文化会館駐車場
4月29日(水)→祝日

加古川中央RC 4月2日(木)→4月5日(日)観桜会 於；天橋立方面
4月23日(木)→休会【定款第7条第1節(d)】
4月30日(木)→休会【定款第7条第1節(d)】

② 回覧します

- ・城ガバナーより 2025-26 年度地区大会ご参加のお礼状
- ・(公財)加古川市国際交流協会より広報誌 Vol. 48
- ・観桜移動例会会計報告
- ・次年度ロースターの作成資料 (変更のない方は○を、ある方は変更事項を記入お願いいたします。また、写真変更希望の方はデータを事務局まで送ってください。)

③ Box に月信、ロータリーの友、ハイライトよねやま Vol. 312 を入れております。また、高松会員のシールを作成しました。ロースターに貼って使用してください。(貼る場所がいっぱいなので、とりあえず今年度上期予定表の上に貼ってください)

④ 城ガバナーより林会員に RLI パートⅡ修了書が届いております。また、2027-28 年度国際ロータリー第 2680 地区東播第 2 グループガバナー補佐の委嘱状が届いております。

⑤ 次週 10 日(金)の例会は、「次年度小委員会」となっております。次年度委員長をはじめ、たくさんのご出席をよろしくお願いいたします。

SONG TODAY

春の小川

作曲・岡野貞一、作詞・高野辰之

春の小川は さらさら行くよ

岸のすみれや れんげの花に

すがたやさしく 色うつくしく

咲けよ咲けよと ささやきながら



井戸の設置を超えて広がるロータリーの水支援

ロータリークラブとローターアクトクラブは、サンドダムや雨水貯留施設、浄水システムの設置を通じて、人びとが安全な水を利用できるよう支援しています

文：Etelka Lehoczky

安全な水と衛生設備を利用できるかどうかは、子どもが安心して教育を受けられる環境を左右する重要な要素です。ガーナのアシャンティ地方にあるローターアクトクラブのメンバーは、地元の学校をより良くする方法を考える中で、この現実と直面しました。

メンバーが訪れた学校では深刻な水不足が続き、生徒たちは汚染された水に頼らざるを得ない状況でした。そのため、下痢や赤痢などの病気が広がっていました。さらに、近代的なトイレはなく、女子生徒が生理の際にプライバシーを守れる場所もありませんでした。水の不足は、学習環境を含め、生徒たちの日常生活のあらゆる面に影響を与えていました。こうした水へのアクセスがもたらす幅広い影響は、国連が定める「世界水の日」(3月22日)でも強調されています。

今年1月、国連のチリツィ・マルワラ事務次長は次のように述べました。「水不足はコミュニティの弱体化を招き、難民問題や紛争の原因にもなりつつあります。水資源を公平に管理し、脆弱なコミュニティを守り、避けられない損失を公正に分ち合うことは、平和と安定、そして社会の結束を維持するうえで極めて重要です」

現在、世界では20億人以上が安全な飲料水を十分に確保できていません。安全な水と衛生設備へのアクセスを広げることは、ロータリーが最も重視する課題の一つであり、七つの重点分野の一つにも位置づけられています。

ロータリー財団からの57,000米ドルのグローバル補助金を活用し、ガーナのクマシ・ローターアクトクラブとオブアシ・ローターアクトクラブは、アシャンティ地方にある八つの学校に安全な水と衛生設備を整備しました。プロジェクトでは約80基の節水型トイレと10基の小便器を設置したほか、女子生徒のための更衣室を設け、さらに2校では井戸を掘削しました。この取り組みにはガーナ国内のロータリークラブやローターアクトクラブに加え、トルコや米国のローターアクトクラブも協力しました。その結果、6,000人以上が恩恵を受けています。

このほか、メキシコ、ケニア、ドミニカ共和国で行われた最近のロータリープロジェクトでも、水へのアクセスを改善することで地域社会に大きな変化をもたらしています。

ララムリ族のための安全な水

メキシコ

先住民族のララムリ族は、メキシコ・チワワ州の孤立した山間の村々に暮らしています。この地域では、安全な水の不足により、感染症、栄養失調、乳幼児死亡率の高さに直面しています。これらの村々は既存の水道システムが届かない場所にあり、地形上の理由から井戸を掘ることも事実上不可能です。

そこで、メキシコのチワワ・カンペストレ・ロータリークラブが主導したグローバル補助金プロジェクトを通じて、二つの村に雨水貯留・浄化システムが設置され、54世帯に安全な水が供給されました。

また、建設作業に参加した住民向けの石工技術研修も実施されました。女性や女兒たちは、水を汲むために長距離を移動する必要がなくなりました。さらに、パートナー団体を通じて、子どもたち、妊婦、そして高齢の住民たちに食料や栄養補助食品が提供されました。

農家のためのサンドダム

ケニア

ケニア南東部の住民は、異常気象や頻繁かつ深刻な干ばつにより、貧困と飢饉に苦しんでいま

す。ケニアのエンバカシ・ロータリークラブは、グローバル補助金プロジェクトを主導し、自給自足農業を営む二つの地域社会のために、サンドダム、井戸、手動ポンプを建設しました。

この総額 88,000 米ドルのプロジェクトにより、約 3,000 人の人びとに持続可能な水源がもたらされました。また、農家に対して、作物の多様化と輪作、樹木の育成と管理、養蜂、土壌・水資源の保全、家畜生産に関する研修も行われました。さらに、干ばつに強い作物の種子、樹木の苗木、食品保存用の薬剤も配布されました。

児童支援施設「光の家」への支援

ドミニカ共和国

ドミニカ共和国のサントドミンゴにある児童支援施設「Casa De Luz」（光の家）は、重度の障害をもつ 40 人の孤児や見捨てられた子どもたちの世話をしています。この施設兼病院は井戸水を水源としていますが、水質はよくありません。

そこで同国のサントドミンゴ・ベラビスタ・ロータリークラブは、117,000 米ドルのグローバル補助金を利用して浄水施設を設置しました。この施設は病院の需要を満たす十分な水を供給するだけでなく、余剰分を販売することも可能にしました。また、病院スタッフに対するシステム管理研修を行ったほか、トラックによる地域全体への水の販売ルートを確立しました。このプロジェクトにより、約 4,500 人が恩恵を受けました。

- 2026 年 3 月

